こんな活動です

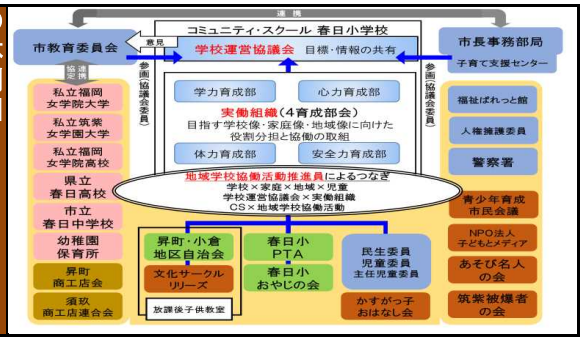
地域を愛し，たくましく生き抜く子どもの育成
～地域学校協働活動推進員がつなぐ、コミュニティ・スクールと協働活動の一体化

福岡県春日市	●活動名	●関係する学校名
	春日小学校　地域学校協働本部	春日市立春日小学校

協働活動開始年度	平成　10　年度	関係学校数	1　校	のべ学級数	26　学級	のべ児童・生徒数	644　人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
	―	放課後子供教室					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	―		6人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・ＮＰＯ等との連携	有		
	平成20年4月1日設置		568人				
参考URL	http://www.kasuga-school.com/						

●連絡先　春日市教育委員会　教育部地域教育課こども共育担当　☎ 092-584-1111

●体制図



●活動の概要・経緯

平成10年度，「地域に開かれた学校」を目指す学校経営方針に賛同した保護者有志が，文化サークル・リリーズを結成し，学校施設開放事業を活用した活動を開始。参加者を地域へ拡大し，現在は放課後子供教室として活動を継続。20年度，コミュニティ・スクール（CS）を導入し，実働組織を設置。29年度，地域学校協働活動推進員（推進員）を設置。

CSを基盤として教育目標及び情報を共有し，その他協働活動と方向性を合わせながら，役割分担・協働して一体的な取組を展開している。推進員は，関係者や活動の間をつなぐ機能（①学校・家庭・地域・児童の四者，②学校運営協議会（運協）と実働組織，③CSとその他協働活動）を担っている。推進員を軸として，多様な担い手による幅広い活動が総合化・ネットワーク化し，「地域とともにある学校」が実現するとともに，市が標榜する「協働のまちづくり」にもつながっている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

●社会的包摂の視点…

＜様々な困難さの想定＞①学習支援（中～大学生及び地域も参画），②福祉との連携（市子育て支援センター・主任児童委員），③夏休み料理教室，④おやじの会による自転車教室やキャリア教育等，⑤商店会・中学生・地域・PTA連携の挨拶運動，⑥居場所づくりと世代間交流（放課後子供教室・公民館コミュニティ食堂）

＜多様性の尊重＞⑦シニアクラブや隣接する障がい者施設と児童の継続的交流，⑧大学生による特別支援教育の補助

●地域人材育成…6年間を通じた地域連携カリキュラムと児童の地域貢献（幅広い地域行事への参画・ボランティア）

●総合化・ネットワーク化…①目指す地域像・家庭像と取組を位置付けた学校経営構想，②事業の有機的連携（自治会行事の2地区合同化，コミュニティ食堂と体験活動の同時開催等），③関係者をつなぐ，推進員による手厚い情報発信（学校ホームページ更新，コミュニティ・カレンダー，校内掲示物，放課後子供教室PR動画等）

【実施に当たっての工夫】

●協働活動全体の方向性の共有（自治会，PTA，おやじの会，リリーズ等複数の活動に関わるキーパーソンを運協委員に任命）

●活動，体制等の洗練（①推進員の校務分掌への位置付け，②活動の教育課程内への位置付け，③CS実働組織と校務分掌の一体化，④事業の合同・同時開催（再掲））

●PTA本部役員，自治会役員，CS実働組織等の豊富な経験を持つ人材の発掘及び推進員の委嘱

●推進員の浸透と役割理解（推進員をテーマとした①運協での熟議，②教職員・市職員合同の班別討議）

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

●推進員等のキーパーソンや数多くの担い手が連携・協働して，地域ぐるみで子どもたちを手厚く見守り，「生きる力」を育んでいる。

●協働活動が異業種交流，生涯学習の場としても機能し，関係する大人に笑顔，喜び，感動をもたらすとともに，当事者意識，市民性等の向上が図られている。また，地域活性化の基盤となるキーパーソンの育ちにもつながっている。

●協働活動によって，地域行事が活性化する等，学校と家庭・地域の双方がWIN-WINの関係となっている。

●推進員のコーディネートにより，①学校と家庭・地域の連絡調整に係る負担軽減，②双方の関係の円滑化，③過去の活動の引継ぎがなされている。

●協働活動の洗練によって，学校・家庭・地域それぞれの「教育力向上」と「負担軽減」が両立されており，活動の持続可能性が高まっている。

● その他

放課後子供教室PR動画を，推進員と市教委が共同作成し，校内放送。児童だけでなく教員へも理解が浸透し，「学社融合」の観点から有効であった。また，令和元年度は，通学合宿や自治会とおやじの会の連携イベント等，協働活動の更なる充実が見られる。

おやじの会が企画・運営を担う自転車教室（平成18年度から継続して実施）

放課後子供教室PR動画（推進員と市教委が共同作成）